

やや少いが大体よい粒度組成をもち砂の配合も比較的計量的に行なわれている、しかし当工場は原土を採掘後直に土練機にかけアラ地を取つているので原土のネカシが必要である。シラ地の乾燥は 各れも地乾しを行つていて、シラ地の返しに注意がはられていない。

No. 9 No.12工場は同一産地で、原土も同質のものを使用する、真空土練機による成型である。

粒度組成は次表のようである。No. 9 は粘土分過多であり、加へて成型後プレス機より脱型後の「タメ入れ」を手加減で行なつていた。

	粗 砂	細 砂	微 砂	粘 土
No. 9	5.08%	13.45	20.95	59.02
No.12	14.19	18.70	23.04	44.07

No. 12は粒度組成には問題はないが、成型時に出る切断片を土練機に戻す際原土との配合に留意されていないためアラ地に硬軟のかたよりが生じていた。

以上は不良発成についての簡単な例であるが参考としてあげた。

V あとがき

前述したようにこの方法は焼成後の製品には触れず、「シラ地」のパラツキについてのみ述べたものである。

ここに採つた限界は製品に対する JIS 規格よりは厳しいものであるが焼成過程において更に大きなパラツキが生ずることを思えば限界を尚圧縮することが希ましい。

3.2.3〔項目〕 大島紬染色のために一般に用いられている合成染料の分類とそれらの日光堅牢度試験結果について

杉尾 孝一

(はしがき)

大島紬の染色加工にも最近は合成染料による染法が取入れられてきているが色々と問題点が多い。そこで目下鹿児島市内の業者間に於て使用されている合成染料48種について系統的分類及び色調を調べると同時にフェードメータによる耐光堅牢度試験を行い、問題の少ない染料の撰択を行うための調査を行つた。(37年3月現在とする)

(調査結果)

〔I〕染料の種類

直接染料	18種 (7種)
一般酸性染料	9種 (3種)
含金錯塩染料 (1:1型)	16種 (0)
含金錯塩染料 (1:2型)	5種 (0)

〔II〕染料の色調別

赤系—7種 (0)	紫系—3種 (0)
青系—5種 (2種)	橙系—2種 (0)
黄系—6種 (1種)	緑系—8種 (4種)
灰系—4種 (1種)	
茶系—9種 (2種)	
黒系—4種 (0)	

備考: () は不堅牢染料数である。

〔III〕堅牢度による分類 (耐光)

8 級	6種	4 級	2種
7~8級	1種	3~4級	3種
7 級	5種	3 級	2種
6~7級	4種	2~3級	0
6 級	2種	2 級	2種
5~6級	6種	1~2級	0
5 級	10種	1 級	1種
4~5級	4種		

〔IV〕耐光堅牢度試験

試験はフェードオメータ、アトラス社製カーボンアーケ型ASTMを使用しブルースケール併用の下に試験を行つた。

第1回露光時間21時間 ※ 以上の方法でJIS.I1044
第2回 " 61.2時間 (1959年) にしたがいつ
第3回 " 136.9時間 て1~8級までに別けた。

48種の染料耐光堅牢度一覧表

分類	染料名	等級	分類	染料名	等級
合金	ネオラン・レッド GL	6~7	合金	ネオランスーパーラボールド FB	6~7
"	ネオラン・スーパーカールレッド GL	7	酸性	ブリリアントアリザリンライトバイオレット FFR	4~5
酸性	アンスラセン レッド 3B	5	合金	ネオランオレンジ RL	7
"	アンスラセン レッド G	5~6	"	コスモランオレンジ RL	8
直接	シリアス レッド B	5	"	パラチン グリーン GN	6
"	シリアス レッド BB	5~6	酸性	ミーリング グリーン B	2
"	ベンゾブリリアントスカーレット 3B	5	直接	ダイレクト グリーン B	5
合金	ネオランスーパーブルー FB	5	"	ダーク グリーン B	5
"	ネオランブルー BR	6~7	"	ファスト グリーン GB	3~4
酸性	ミーリング ブルー G	5	"	ファスト グリーン 3GB	4
"	ミーリング ブルー BR	1	"	ファスト グリーン BG	5
"	ウール ブルー BB	2	"	ダイレクト グリーン 3B	3~4
合金	コスモラン エロー RL	8	合金	ラニール グレー GB	6~7
"	ネオラン エロー RL	8	"	コスモラン グレー RL	4~5
"	ネオラン エロー GL	8	"	ネオランオリブ BL	5~6
酸性	イルガノールエロー 5G	7~8	直接	ダイレクトスーパーラグレー G	4
直接	ファスト エロー G	4~5	合金	ネオラン ブロン GL	7
"	" エロー R	3	"	ネオラン ブロン 3GL	8
合金	ネオランバイオレット RL	7	"	ネオラン ブロン 3RL	8
直接	ダイレクトブロン GC	3~4	"	コスモランブロン BGL	5
合金	ネオランスーパーラブラック RL	7	直接	ダイレクトブロン KGG	3
"	オゾランブラック A	6	"	ダイレクトブロン BG	4~5
酸	ミーリングブラック R	5~6	"	ソーラファストブロン B	5~6
直接	ファストブラック R	5~6	"	スミライトスーパーラブロン TL	5

(結 論)

以上の様な結果が得られたので、不堅牢な染料の使用を取りやめるよう注意すると共に堅牢染料の選択及び新染料の使用法等について指導したい。

(堅牢度試験に当つては福岡県福岡工業試験場の協力を得たことを深謝する)

3.2.4 (項目) 天降川についての調査報告(概要)

報告責任者 黒川達爾雄

要 旨

鹿児島県姶良郡牟田町を流れている天降川は、工業用水水源として、将来大きな価値をもつに違いない

と思われる。

たまたま筆者は、某パルプ工場関係者、町関係者等と一緒に、天降川調査を行う機会を得、昭和36年7月末現在のその流量、水質、感潮限界、海水遡上限界等を把握したので、その概要を報告する。

(1) 流 量

(a) 約 127万 立米/日 (参宮橋下流約百米に於て測定)^①

(b) 50万~60万 立米/日 (〃 工業適地の概況^② : 鹿児島県資料)

(c) 最大濁水量 35万 立千/日 } (九電資料)
常 時 72万 立千/日 }